



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリ

生産

- 【資料名】** 水田用長床犁
【年代・来歴】 明治末期
【寸法】 犁身長 190cm
【保存状態】 概ね良好

【画像】



【略説明】

明治末期に近畿地方で使われた水田用の長床犁。長床は牽引抵抗は大きいものの、犁耕作業の安定性では優れていた。

【注記】

東京農工大学農学部は、明治期初期から昭和30年代までの間に使われたさまざまな形式の畜力農機具100点あまりを収蔵しており、その資料群は産業考古学会選定「日本の産業遺産300選」に選定されている。

なお上記の年代・来歴及び略説明については、東京農工大学名誉教授 下田博之博士の著書「図説 畜力農機具発達史 (1995年6月)」を基にしている。

- 【所蔵機関】** 東京農工大学農学部
【住所】 東京都府中市幸町3-5-8
【連絡先電話番号】 042-367-5654(農学部総務室)
【所蔵URL】 <http://www.tuat.ac.jp/>
【閲覧】 要相談

【このページの問い合わせ先:公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 03(4334)2161】